



羽田空港ベースの保冷施設を中心とした機能拡充について

～羽田空港国内貨物地区の立地を活かしたスピード輸送と、日本各地の生鮮食料品を
全国へ新鮮なままお届けする航空貨物一貫コールドチェーン機能の高度化を実現～

ヤマトホールディングス傘下で、法人のお客様向けに「航空便」などのサービスを提供するヤマトグローバルエクスプレス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:広田敏克、以下「YGX」)は、羽田空港国内貨物地区に位置する羽田空港ベースのリニューアルを行い、保冷施設の拡張や最新マテハン機器を導入し、7月1日(火)より本格稼働いたします。

記

1. 背景

YGX 羽田空港ベースは、ヤマトグループにおいて、法人向けのスピード輸送に必要な不可欠な国内航空貨物輸送の基幹施設の役割を担ってまいりました。

近年、消費者の「食の安心・安全」に対する意識向上により、鮮魚・野菜などの生鮮食料品を「鮮度・おいしさ」を保ったまま、手に入れたいといったニーズが高まっております。

このようなニーズにお応えするため、YGX 羽田空港ベースは、「航空貨物一貫コールドチェーン機能の高度化」を実現するための保冷設備スペースの拡張と、羽田空港国内貨物地区という立地を最大限活かした「スピーディな仕分け・配送」を実現するための最新マテハン機器の導入をいたしました。

2. 施設機能の拡充について

(1) 保冷設備スペースの拡張

保冷設備が無い、もしくは需要期に保冷能力が不足している羽田空港国内貨物地区の現状を鑑み、従来の保冷設備スペースから約 100 坪拡張いたしました。保冷設備スペース内の「クール仕分け室」には、最大 72 台のエアコンテナが収容可能であり、室内には一時止め置きが可能な「冷蔵庫」「冷凍庫」を有しております。日本各地の生鮮食料品をお届け先ごとにクロスマージしお届けできる保冷設備スペースの拡張により、「航空貨物一貫コールドチェーン機能の高度化」を実現します。

(2) 高機能マテハン機器の導入

羽田空港国内貨物地区という立地に、高速・高品質な仕分けを実現する「羽田クロノゲート」と同様の最新マテハン機器であるクロスベルトソータを導入いたしました。生鮮食料品の他、緊急を要する医療機器や繊細な精密機器などに対するスピーディな仕分けを実現します。

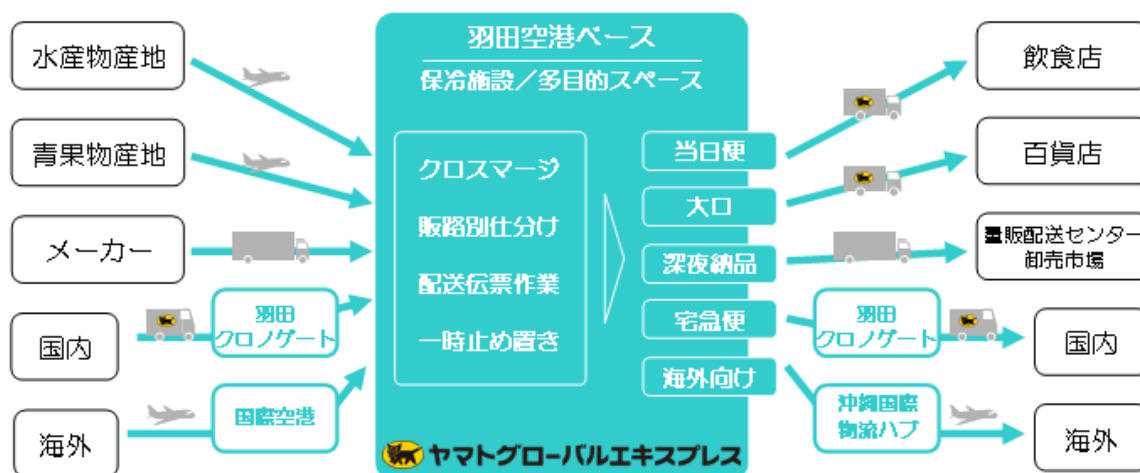
(3) 多目的スペースの設置

保冷設備スペースに隣接した位置に広さ約 200 坪の多目的スペースを用意いたしました。特別な温度

管理が必要無い品物のクロスドックやマージ作業、一時止め置きや荷物の引取り・引渡し場所としての活用など、お客様のビジネスに合わせてご利用いただけるスペースです。

3. YGX 羽田空港ベースを活用した事例

お客様のさまざまなビジネスシーンに合わせて「航空貨物一貫コールドチェーン機能」と「スピーディな仕分け・配送」をご提供いたします。



事例①『朝どれ当日便マージモデル』

「クール仕分け室」でのクロスマージにより複数産地の朝どれ食材を、YGX 羽田空港ベースに集約し、当日にまとめて配送。

事例②『百貨店催事納品モデル』

百貨店などの催事会場へスムーズな納品を行うため、品物を「クール仕分け室」または「冷蔵庫」「冷凍庫」で一時止め置きし、指定された時間に納品。

事例③『輸入商材モデル』

海外から輸入された食品や医療機器などの商材をリードタイム短縮のため、「クール仕分け室」や「多目的スペース」で、「クール宅急便」や「宅急便」に切り替えて配送。

4. 「バリュー・ネットワーキング」構想における役割について

(1) スピード輸送を支える航空輸送のハブ機能

YGX 羽田空港ベースは、「国内航空貨物輸送に関わるハブ機能」を担っており、スピードと付加価値機能を一体化した多機能スーパーハブ「羽田クロノゲート」「厚木ゲートウェイ」「沖縄国際物流ハブ」と連携して運営していくことで、ヤマトグループの「スピード輸送」と「ネットワーク」を更に強化いたします。

(2) 航空貨物輸送におけるプラットフォーム

国内や海外で生産されている魅力ある商品を、小売業や飲食店また個人のお客様へ、より早くより最適な方法でお届けできる国内航空貨物輸送のプラットフォームを目指します。

5. YGX 羽田空港ベースについて

名称	YGX羽田空港ベース
所在地	東京都大田区羽田空港3-2-3 E-2
構造	鉄骨造平屋建（一部事務所部分2階建）
面積	敷地面積=8,448㎡（約2,556坪） 上屋面積=5,280㎡（約1,597坪） クール仕分け室該当面積=約1,025㎡（約310坪） 自動仕分け機該当面積=2,880㎡（約871坪） 多目的スペース該当面積=720㎡（約218坪）
装備	自動仕分け機 クロスベルトソーター全長約140m 自動仕分け機性能=9,000個/h X線検査装置

6. ヤマトグローバルエクスプレス株式会社（YGX）について

名称	ヤマトグローバルエクスプレス株式会社
本社所在地	東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル6階
設立年月日	2007年7月10日
代表者	代表取締役社長 広田 敏克
資本金	10億円
従業員数	2,543名（2014年5月）
事業所数	284店（2014年5月）
事業内容	（1）エクスプレス事業 「航空便」などの航空輸送・トラック輸送・貸切輸送などを組み合わせた最適輸送と付加価値サービスを提供 （2）グローバル輸送マネジメント事業 輸出入貨物の国内における輸送マネジメント

国内航空貨物輸送に取り組み培ってきた豊富なノウハウをベースに、全国のネットワークを駆使して、主要都市間の当日輸送、最短翌朝9時までのお届け、最大深夜23時までの集荷対応サービスなど、BtoBに求められるスピード輸送を提供しています。さまざまなニーズに応じて、航空輸送、トラック輸送、貸切輸送など、あらゆる輸送手段をカスタマイズし、お客様に最適輸送と付加価値サービスを提供することで、お客様の物流イノベーションを推進する、ビジネスに必要不可欠な『BtoB スピード物流企業』を目指しております。

以上

【お問合せ先】 報道機関の方 ヤマトホールディングス(株) 広報戦略担当 : 山本、片桐 03-3248-5822
お客さま・一般の方 ヤマトグローバルエクスプレス(株) 広報担当 : 山下、尾関 03-6860-8107